

別記様式(第7条関係)

第1回富士川町水道料金等審議会 会議録

- 1 会議の名称 富士川町水道料金等審議会
- 2 会議日時 令和3年9月14日(火)午後2時00分から  
午後2時50分まで
- 3 開催場所 富士川町役場本庁1階会議室
- 4 出席者数 委員 10名 (欠席者0名)
- 5 傍聴人数 0名 (傍聴人定員3名)
- 6 議題 富士川町水道ビジョン(素案)について
- 7 審議会内容
  - (1) 開会
  - (2) 審議会委員委嘱状の交付
  - (3) 町長あいさつ
  - (4) 会長の選任及び職務代理の指名
  - (5) 諮問
  - (6) 議事  
審議会条例第6条の規定により、会長が議長となり議事進行を行う
  - (7) その他
- 8 発言の内容
  - (1) 富士川町水道ビジョン(素案)について  
事務局(説明)  
「富士川町水道ビジョン(素案)について」説明。  
委員(質問)  
マンガンが検出されている水源があるとのことだが、現在もこの状態で使用されているのか。水質的に問題はないのか。

事務局（回答）

毎月専門業者による水質検査を実施しております。一部の水源においてマンガンが出ておりますが、水道水質基準上、基準値内に収まっている状況であります。

委員（質問）

マンガンの対策をする必要はないのか。

事務局（回答）

基準値内に収まっている状況ではあります、一部の水源において数値が高いため、今後何らかの対策を考えていく必要はあるかと思えます。

委員（質問）

今朝の新聞でもあったが、水道事業の広域化ということで、今、県の方から町へ詳しい話は来ているのか。

事務局（回答）

広域化につきましては、県主催で研修会が行われており、町として出席している状況であります。

委員（質問）

ゴミの収集は今広域で行っている。水道についても今から広域化になる流れになるのか。

事務局（回答）

山梨県において、令和3年度末に広域化推進プランの素案を策定する事を目標として進めている状況であります。

委員（質問）

今は市町村で運営しているが、広域化になるということは、複数の市町村で運営していく流れになるのか。

事務局（回答）

山梨県において広域化推進プランを現在策定中であります。プランに何らかの方向性は示されるものと思えます。具体的には今からになります。

委員（質問）

広域化についてメリット、デメリットはまだわかってないのか。

事務局（回答）

例えば資材の購入について一括で出来ることになれば、費用を抑えられる事が想定されますが、現時点では、それぞれの市町村で事業を行っておりますので、これから県のプランが示されてからになります。

委員（質問）

料金回収率が100パーセントを下回ってしまう事に対して、費用削減や財源確保の具体的な方法は検討されているか。料金収入以外に確保出来る財源はあるのか。

事務局（回答）

上水道事業につきましては、水道料金の収入が主になります。料金回収率が100パーセントを下回っているということで、すべての水道料金を回収することが出来ていない状況であります。

財源確保といたしましては、今回の審議会では考えておりませんが、平成29年度に水道料金の改定をさせていただいております。今後料金改定について検討していかなければならないと考えております。

また、上水道事業につきましては、現在借入は行っていない状況にあります。以前借入しました企業債、借金ですが、返済は続けております。今後財源不足になるようですと借入をしていく事も検討していく必要があると考えております。

委員（質問）

水道ビジョン（素案）の中に、重点的な実現方策とあるが、最終的に数値的なものが出てくるのか。

事務局（回答）

水道ビジョンの中に経営戦略も含まれておりますので、今後数値的な目標も示して参ります。

委員（意見）

富士川町が合併した当初、上水道と簡易水道とで料金が異なっていた記憶がある。平成29年に料金改定があり、その時も委員として関わっていたので覚えている。このまま行ったら、赤字になってそのままという訳には行かないので、料金改定もそうだが、事業をするのに補助金等も取り入れていけるなら検討してもらいたい。個人的な意見である。

(2) その他

事務局

最終的に町長からの諮問に対して審議会の答申を頂きたいと考えております。3回程度の審議会を予定しております。次回の内容につきましては、具体的な水道ビジョンの内容をお示しし、ご審議をお願いしたいと思います。次回につきましては、10月の第2週を予定しております。

以上